

### Topics 1

## 多様な子どもたちへの支援の充実について～第3回高知県総合教育会議（12/5）より～

第3回高知県総合教育会議では、子どもたちが抱える多様な現状や課題等について有識者から発表をいただきました。その発表を受け、本県の「多様な子どもたちへの支援」について知事と教育長・教育委員が協議を行いました。



### 「ヤングケアラー当事者の人生から考える支援の方法」一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事 宮崎 成悟 氏

- すべてのヤングケアラーに一律の有効な支援方法はない。ヤングケアラーの置かれた状況の多様さを理解し、ライフステージの変化に応じて対応することが大事であり、点ではなく線で見ること。
- どのように声をかければいいのかは人それぞれ。大事なものは信頼できる大人から声がかかること。子どもにとって信頼できる大人は、定期的に会って、話してくれる人。定常的な接点を持つこと。
- ヤングケアラーにとっての解決方法を決めつけないこと。本人とその家族の声を聞くことが大事。
- ヤングケアラーの周りにたくさんの「支援の糸」を垂らしていこう。 等

### 「子どもたちが置かれている現状にみるスクールソーシャルワーカー（SSW）の支援」

高知県 スクールソーシャルワーカー 藤田 早苗 氏

- SSWは人と人の間、学校と家庭の間、関係機関との間、その接点に関わりを持ち、つながりを作っていく仕事。
- SSWの活動を促進させる要件として、SSWの熟意と力量に加え、子どもや保護者とSSWの良好な関係、教職員のSSWへの理解と積極活用、地域に利用可能な社会資源があること、学校とSSWの一体的な支援、教育委員会のバックアップなどが必要である。
- 子どもや家庭の多様なニーズに応える教育的・福祉的支援として、就学前から中学校卒業までSSWが継続して支援する仕組みづくりや、家庭への直接的支援サービス（ホームヘルプサービス）等が必要ではないか。 等

### 会議での主な発言

#### 【知事】

- ・ 厳しい環境にある子どもたちを巡る問題については、子どもや学校だけの問題ではないということに尽きる。行政全体でどのようにカバーしていくかというところをしっかりと準備していかなければならない。
- ・ **学校においては、早期・定常的な相談につなげられる体制づくりが必要**。そうした中で、**SSWの活動が学校の現場で要**になってくると思う。また、**教育大綱の改訂においても検討し、方向性を出したい**と考えている。
- ・ 福祉の分野においても「**地域共生社会**」という取組を進めているが、**家族全体の問題を解決するためにはあらゆる制度・分野間で横の連携を強化**する。県内の市町村でも包括的な支援体制を準備しており、学校における体制整備とあわせて、解決に近づいていけるような議論を進めていきたい。



#### 【教育長】

- ・ 当事者のお話を聞くことは教育施策を考えていく上で必要不可欠。今日いただいたお話をどのように施策に結びつけていくかしっかり考えていきたい。
- ・ 子どもたちの一つの事象だけで判断するのではなく、背景や要因をじっくり見ないといけない。そのような中で、**まずは気がついて対応していかないといけない**。そして、**気がつくためには糸をたくさん垂らすことが重要だと感じたので、学校とも話し合っていきたい**。
- ・ 子どもたちが相談や発信をしやすい環境を作るためには、**SSWが動きやすい環境を作っていくことが必要**であり、SSWに任せきるのではなく、学校や教育委員会がチームとして対応していくことが必要。そのためには**学校や教員、市町村教育委員会にSSWの役割・存在をさらに知らせていきたい**と思う。

### 【教育委員】

- ・子どもだけを見るのではなく、その**家族全体を見て支援していくという視点が大事**。
- ・子育て世代包括支援センターの役割は大きい。そこが乳幼児だけではなく、**中学校、高校までつないでいく役割がとても大事**。
- ・**相談場所をうまくつなげるというシステムを作っていくことが必要**。
- ・ヤングケアラーの問題だけでなく、**不登校や学力の課題も含めて家庭支援をどうしていくか**考えていかないといけない。

今回の会議でいただいた有識者からのご意見や議論された「多様な子どもたちへの支援」については、年度末に改訂する第3期高知県教育振興基本計画<第3次改訂版>に反映していきます。また、瀨田知事の発言にもあるように、多様な子どもたちの支援については、その家族も含めて行政全体で取組を進めていきます。

### ヤングケアラーの支援の充実について（リスクに応じて切れ目なく支援をつなぐ体制の強化）

#### <バージョンアップの方向性> ■ 児童福祉と教育との連携による取組強化

##### 【児童福祉における取組】

- ✓ 学校から児童福祉につながる手順等を作成し、学校と児童福祉との連携を「見える化」
- ✓ 校内研修等で活用できる学齢（小・中高）に応じたリーフレットの作成
- ✓ 生徒向けのヤングケアラー出前授業の実施

福祉部署と連携強化し、支援の充実を図っていきます。

##### 【教育における取組】

- ✓ 校内研修等の充実による早期発見・早期対応や児童福祉との連携に向けた取組を促進

## 誰も孤立しない支え合いの地域づくりのキーワードは「高知家地域共生社会」

### ? 高知家地域共生社会ってなに？

人口減少や少子高齢化に加え、昨今のコロナ禍やデジタル化の進展などにより人との接触機会が減ってきたことで、地域のつながりや支え合いの力が弱まっています。加えて、最近では、ヤングケアラー、ダブルケア、8050問題といった複雑化・複合化した課題が増えてきています。こうした課題への対応として、制度や分野ごとの「縦割り」や、「支える・支えられる」という一方的な関係を超えて、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、相互に支え合う「地域共生社会」の実現が目指されています。全国に先行して人口減少や高齢化が深刻化した高知県では、こうした動きに先立ち、平成21年から、「県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県」を目指し、あったかふれあいセンターの整備などの「高知型福祉」に取り組んできました。こうした「高知型福祉」の取り組みをさらに深化させ、高知県ならではの「地域共生社会」を、県民のみなさんと一緒につくり上げていきたいと考えています。

孤独・孤立を見逃すと、虐待や自殺など、さらに深刻な事態に陥ることも…

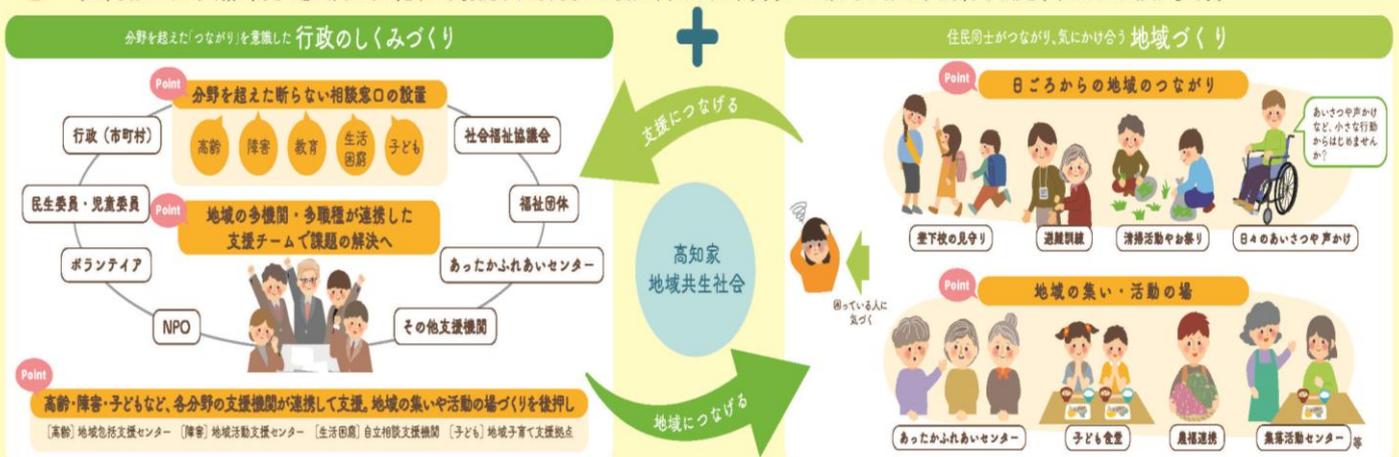
高知県ではみんなで「高知家地域共生社会」の実現を目指します！

令和4年10月30日に知事・全市町村長・全社会福祉協議会会長が「高知家地域共生社会推進宣言」を文書！



### ? 高知家地域共生社会ってどうやって実現するの？

分野を超えた「つながり」を意識した行政のしくみづくりと住民同士がつながり、気にかけて地域づくりを進めます。行政は、どんな困りごとでも受け止め、関係者が連携して解決に導くとともに、地域の集いや活動の場づくりを後押しします。また、地域のつながりや集い、活動の場があることが、困りごとを見逃さない支え合いの地域づくりにつながります。日々のあいさつや声かけなど、小さな行動もそのための大切な一歩です。



「高知家 地域共生社会リーフレット」（高知県子ども・福祉政策部地域福祉政策課）より



総合教育会議資料については、県政策企画課ホームページをご覧ください。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111601/sogokyoikukaigi.html>



教育政策課 教育企画担当 TEL：088-821-4731  
 「高知家地域共生社会」については、県地域福祉政策課  
 TEL：088-823-9840

## 令和4年度教職員等表彰について

教職員等表彰は、教育活動が優れ、成果の著しい学校、保育所等及び共同調理場並びに教育関係者であって、特に功績が顕著なものや、全体の奉仕者として他の模範となる教職員を表彰するものです。

表彰式（令和4年11月29日）には、高知県議会 西内 隆純 副議長、高知県市町村教育委員会連合会 竹内 信人 会長、高知県小中学校長会 瀬戸 保彦 会長、高知県高等学校長協会 高岸 憲二 顧問にご臨席いただきました。長岡 幹泰 教育長の式辞の後、「学校表彰」「土佐の教育功績表彰」「土佐の教育奨励表彰」の表彰を行い、最後に、大豊町立大豊学園 岡村 洋一郎 校長の謝辞で締めくくられました。受賞者の皆様のこれからの活躍を大いに期待いたします。

### ■教育研究実践表彰（優れた教育研究を実践した学校を表彰）

受賞校	受賞内容
香美市立大柘中学校	地域について学ぶ「物部未来学」を要として、探究的な学びでつなぐ小中学校の連携に向けた取組
高知市立久重小学校	外国語教育の研究を通じた授業づくりや指導方法について、組織的な工夫や改善を目指した取組
高知市立春野中学校	地域と学校の両輪で、生徒の育成や学校運営の改善を目指す地域資源を活用した教育実践の取組
土佐市立高岡第一小学校	3つのメンターチームによる組織的な若年教員の育成や子どもの思いを大切に授業づくりの取組
津野町立中央小学校	学校運営協議会を柱とした、地域のボランティアと保護者、教職員が協働した地域学習の取組
宿毛市立宿毛小学校	チーム学校として国語科を中心に読解力や学校図書館の活用にも焦点を当てた授業改善を目指す取組

### ■健康推進活動表彰（健康への関心を高め、地域とともに健康推進活動を実践した学校を表彰）

受賞校	受賞内容
本山町立本山小学校	がんを教材とした健康教育による児童の生活習慣の改善や心身の健康推進を目指す取組

### ■学校安全優良表彰（学校安全について優れた成果を上げている学校を表彰）

受賞校	受賞内容
南国市立十市小学校	防災をテーマとした探究学習や地域ぐるみの防災活動の実施により児童の防災意識を高める取組
本山町立吉野小学校	フィールドワークの実施による防災マップの作成等、地域全体の防災意識の向上に向けた取組
土佐市立蓮池小学校	児童が地域の安全上の課題を見つけ、自ら安全な行動選択ができるようになることを目指した取組

### ■土佐の教育功績表彰（主に管理職等の多年にわたる功績と教育実践を表彰）

氏名	所属	受賞内容
大城 由美 校長	安芸市立井ノ口小学校	特別な支援を必要とする児童への組織的な指導体制構築に向けた取組
濱窪 多美子 校長	安芸市立安芸第一小学校	教育課題に取り組む組織づくりやチーム学校の構築に向けた取組
志磨村 俊二 校長	香南市立野市中学校	様々な課題解決に向けた学校運営の活性化や安定した学校経営の取組
植村 昌史 校長	香美市立山田小学校	若年教職員の育成やICTを活用した授業研究及び個別最適化の取組
金井 伸也 校長	高知市立秦小学校	児童が安心できる学校づくりと組織的な学校運営を推進する取組
岡林 宏枝 校長	高知市立大津小学校	国語科の授業づくりの組織的な研究と小学校教科担任制を推進する取組
坂本 美紀 事務長	高知市立潮江中学校	事務職員の資質・能力の向上や若手事務職員の育成に向けた取組
山田 洋士 校長	高知市立介良中学校	生徒指導面において的確な指導や助言を行い、自尊感情を高める取組
澤田 直柔 教頭	高知市立高知特別支援学校	教育研究の推進及び実践による質の高い教育の実現に向けた取組
岡村 洋一郎 校長	大豊町立大豊学園	学校と地域が一体となり児童生徒を育成する風土の構築に向けた取組
柏井 千春 校長	須崎市立朝ヶ丘中学校	授業力の向上と生徒理解を両輪とした学校経営を展開する取組
片岡 浩和 校長	須崎市立須崎中学校	情報共有の仕組みづくりによる組織力向上や働き方改革を推進する取組
尾崎 由里 事務長	須崎市立須崎中学校	学校事務の機能強化と事務職員の力量形成、対応の均一化に向けた取組
辻 明美 校長	津野町立中央小学校	生活科・総合的な学習を中心とした、子どもの人間性育成に向けた取組
山崎 利彦 校長	四万十市立中村中学校	全教職員で学び合う組織の構築と資質・能力ベースの授業づくりの取組
岡村 相良 校長	土佐清水市立三崎小学校	地元の自然を再認識する環境学習の推進や学び合う児童を育成する取組
横山 昌二 校長	宿毛市立宿毛中学校	協働できる職場づくりや主体的な学びを目指した授業改善を図る取組
正木 章彦 校長	高知県立山田高等学校	探究を軸とした新学科の立ち上げや地域と連携した学校運営の取組
鍋島 正浩 事務長	高知県立高知小津高等学校	効果的な提案による学校運営の効率化や事務職員の資質向上に向けた取組
廣瀬 法民 校長	高知県立高知西高等学校	教員に対する適切な指導・助言及び生徒の進路保障に向けた取組
安藤 千速 副校長	高知県立高知国際高等学校	様々な課題に対して組織的に対応するチーム学校の構築に向けた取組
織田 敦子 校長	高知県立春野高等学校	社会を生き抜くための基礎学力の定着や自己管理能力を育成する取組
八木 千晶 校長	高知県立盲学校	視覚障害教育の専門性を高める研究体制を構築し、支援を充実させる取組

## ■土佐の教育奨励表彰（教職員の継続的な教育実践の取組を表彰）

氏名		所属		氏名		所属	
公文 陽子	総括主任	香南市立野市小学校		沼瀬 直哉	教諭	宿毛市立宿毛中学校	
弘田 良子	養護教諭	香南市立野市中学校		弘田 由佳	教諭	黒潮町立佐賀小学校	
岡本 さちよ	教諭	香美市立大宮小学校		岸野 信典	教諭	高知県立室戸高等学校	
森光 美和	総括主任	高知市立江ノ口小学校		日置 公雄	教諭	高知県立中芸高等学校	
小笠原 明日香	主幹教諭	高知市立鴨田小学校		戒井 淳	教諭	高知県立山田高等学校	
小林 久美	教諭	高知市立介良小学校		西谷 英和	教諭	高知県立高知工業高等学校	
田中 裕子	教諭	高知市立横浜新町小学校		筒井 孝昌	教諭	高知県立高知小津高等学校	
藤本 由扶子	教諭	高知市立城北中学校		前野 佐希子	教諭	高知県立高知国際高等学校	
秋森 紀久子	教諭	高知市立愛宕中学校		上田 宣史	教諭	高知県立高知海洋高等学校	
細木 恵	養護教諭	南国市立後免野田小学校		水田 直樹	教諭	高知県立窪川高等学校	
猪原 圭子	教諭	南国市立長岡小学校		谷淵 悠	教諭	高知県立幡多農業高等学校	
中村 大	教諭	南国市立香長中学校		山本 厚美	教諭	高知県立山田特別支援学校	
中澤 小夜	教諭	越知町立越知小学校		三谷 真知	教諭	高知県立盲学校	
松下 恵美	主幹	四万十町立田野々小学校		石山 佳代	教諭	高知県立盲学校	
岡村 良太	教諭	四万十市立東山小学校		山本 洋平	教諭	高知県立高知若草特別支援学校	
宮崎 鮎子	主幹	四万十市立西土佐中学校		大川 三千恵	教諭	高知県立日高特別支援学校	

## ■土佐の教育実践表彰（主に若手・中堅職員の優れた教育実践を表彰）

市町村(学校組合)立学校	尾崎 有祐	小島 亜季	佐古田 美代	高橋 由希子	平山 阿弥依	佐伯 あかね	青木 翔太	浦田 国宏
	西口 加奈子	長尾 花奈	柳原 正和	山下 幾世	大崎 桃世	西坂 祐子	平林 香里	中山 雅代
	今井 悠介	溝淵 真理	南 和佳	山尾 竜則	山下 彩加	中山 麻希	山脇 昌代	弘田 華愛
	藤原 大輝	清岡 志保	上山 優子	久保田 美起	山下 和香	岡野 秀哉	小島 有真	加藤 大輔
	中川 真身	松本 直子	宮川 真幸	青屋 裕子	正木 晶子	梶原 航	上田 美緒	岡崎 寛貴
	濱 裕介	安井 朋子	藤岡 真季子	鈴木 達也	朝倉 奈穂	今橋 知里	松浦 愛	
	岡部 将也	井澤 りか	安田 直子	宮脇 康代	河添 紀男	谷口 弥生	野村 拓子	
	田内 南央	中村 早希	峯田 久美子	桐谷 巧	萩野 真美	倉松 光	依光 峰登	
	森部 翔也	松尾 麻美	植田 玲佳	折付 あゆみ	池尻 早紀	若木 泰伸	谷崎 陽菜	
	県立学校	花井 櫻子	岩貞 篤芝	押岡 禎之	土居 実里	北村 嘉久	土居 一人	奈良 雅子
濱田 昇秀		青波 真央	井上 千夏	岡村 幸広	前田 英二	松井 貴司	松下 美幸	田中 ゆか
亀岡 雅文		和田 惇	竹村 順二	堂元 文	山崎 雅之	和田 ゆかり	柏原 智子	岸本 聡子
小原 亜紀		柿本 秀夫	黒石 雅宏	中馬 剛	杉本 雅広	小島 大和	吉村 栄里香	
濱崎 麻衣		池上 早苗	高野 佳香	寺尾 立子	吉岡 史典	小松 大介	杉元 健太	
今村 志保		尾崎 靖司	秋元 杏理	北添 貴哉	西森 隼也	橋田 喜代美	西原 雄公	

◎その他 179 名の方が勤続表彰を受けられました。



また、令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰式が令和5年1月17日に行われました。今年度は、過去に本県の教職員表彰を受賞した方の中から選ばれた8名の方が受賞されました。詳細は教職員・福利課ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



教職員・福利課ホームページはこちら。  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310601/>



教職員・福利課 人事企画担当  
TEL : 088-821-4901

# 令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

## ■昨年度に引き続き、小・中学校の男女ともに全国平均を上回りました

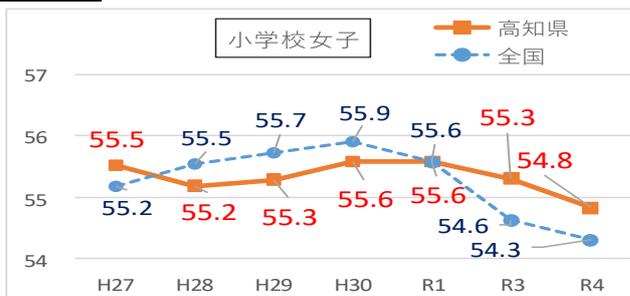
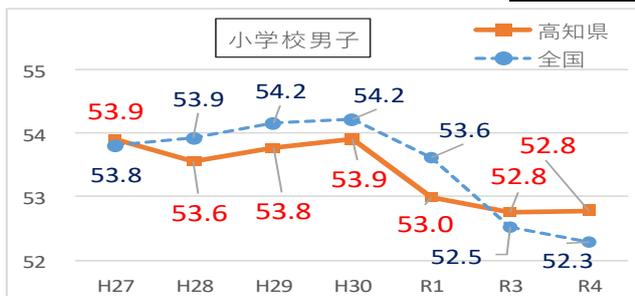
令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が、昨年12月23日に公表されました。

本県の体力合計点は、令和3年度の結果と比較すると、小学校男子はほぼ同じであり、小学校女子、中学校男女についてはやや下回る結果となりました。しかし、全国と比較すると、昨年度に引き続き、小・中学校男女ともに体力合計点が全国平均を上回っています。これは、全国の体力合計点が低下しているなか、本県では感染対策を講じながら、授業改善や体力向上のための工夫をした取組の成果であると考えられます。

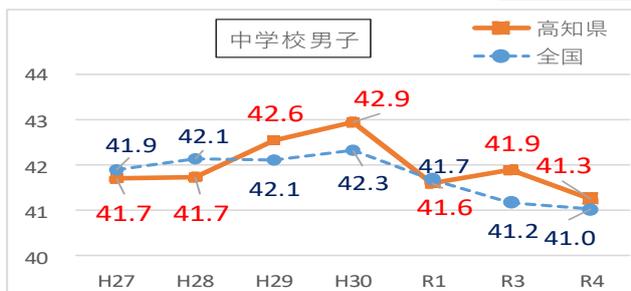


◇体力合計点（8種目の実技の総合点）の推移

### 小学校（第5学年）



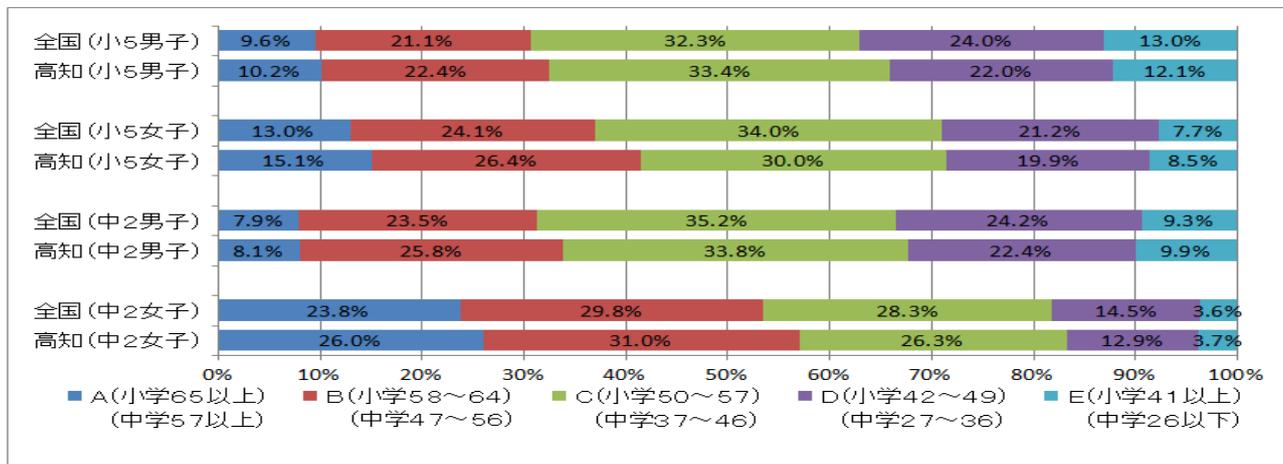
### 中学校（第2学年）



## ■運動やスポーツに意欲的な児童・生徒を育てていきます

A B C D Eの5段階で評価した体力の総合評価のうち、下位のD E群の割合は、全国的に増加傾向にあり、本県も昨年度と比較すると小学校男子を除きやや増加しています。本県の第3期教育振興基本計画では、このD E群の割合の減少を目標として掲げていることから、引き続き取組が必要です。

県教育委員会では、今回の調査結果の分析を進めるとともに、小・中学校9年間を見通した体力・運動能力向上プログラムの活用、外部人材の派遣、指導主事等による学校訪問などの取組を継続して実施し、さらに、市町村教育委員会との連携を一層深めながら、各学校の取組を支援していきます。



※全国の値はスポーツ庁の示す公立（国立・私立を除く）学校の平均値



詳しくは保健体育課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310501/tairyokutesuto.html>



保健体育課学校体育担当

TEL : 088-821-4900

小規模中学校では、教員定数が教科数（9教科10科目）よりも少ないことから、特に美術、技術・家庭において免許外指導を行わざるをえない状況です。

そこで、教育センターでは、本年度から美術、技術の免許外指導担当教員（以下、免外教員という。）の知識・技能等の専門力の向上を図るために、美術、技術の免許外教科専門支援員（以下、専門支援員という。）を配置し、大豊町立大豊学園、大川村立大川小中学校、宿毛市立沖の島中学校の3校に対して遠隔教育システムを活用した支援を行っています。

### 遠隔教育システムを活用した支援



図1

教育センターと研究指定中学校をオンラインでつなぎ、専門支援員が、補助資料を大型モニターに提示したり、実物教材を用いたりしながら、具体的なアドバイスを行っています。（図1）

免外教員の要請によっては、専門支援員がT2として授業に参加し、実技指導を行う場合もあります。例えば、ウェブカメラで手元を映しながら、色の作り方や塗り方を実演します。（図2）



図2

#### ◆免外教員のコメント◆

- ・毎回丁寧なアドバイスで、自信をもって授業ができる。
- ・具体的な指導方法を知ることによって、指導の幅が広がった。
- ・指導に役立つ教材や教具を提供してもらい助かっている。
- ・オンラインで定期的にやり取りできることで、日々の指導について気付くことも多い。



美術では、交流授業（相互鑑賞授業と美術館連携授業）に取り組んでいます。

次年度は、美術、技術に加えて家庭の支援を行います。また、研究指定地域に免許外支援拠点校を設置して、地域の学校間で相互支援の研究に着手します。さらに、教育センター主催「免許教科外の教科教授担任講習会」の受講者へのオンラインによるフォローアップに取り組み、県内全域を対象とした免外教員への支援も行っていきたいと考えています。

免許外指導について、困りごとや相談したいことがある方は、是非、高知県教育センターまでご連絡ください。



詳しくは、高知県教育センターまでお問い合わせください。  
次世代型教育推進担当 TEL : 088-866-7385



■第1回学習会

6月19日(日)  
場所：県立高知南高等学校  
参加：実践校7校 生徒23名 教員8名  
内容  
○講演「近づく南海トラフ地震に備える」  
講師 高知大学防災推進センター客員教授 岡村 眞 氏

- フィールドワーク
- 実践校7校の交流



■第2回学習会

8月23日(火)  
場所：高知会館  
参加：実践校6校 生徒19名 教員7名  
内容  
○講演「高校生に東日本大震災の教訓として伝えたいこと」  
講師 文部科学省 安全教育調査官 森本 晋也 氏

- 意見交流



■『世界津波の日』2022 高校生サミット in 新潟

10月19日(水)～20日(木)  
場所：新潟県新潟市  
参加：実践校2校 生徒5名 引率2名  
内容  
○分科会(災害リスクの軽減 など)  
○全体協議 など



■被災地訪問

8月25日(木)～27日(土)  
場所：宮城県名取市、石巻市、気仙沼市  
参加：実践校7校 生徒7名 引率2名  
内容  
○宮城県気仙沼向洋高等学校との交流  
○震災遺構での震災学習



「高知県高校生津波サミット」(参集とオンライン方式を併用するハイブリッド方式により開催)

本年度の「高知県高校生津波サミット」は、11月12日(土)に大方高等学校(黒潮町)で開催し、39校の高校生及び教職員、関係者139名が参加しました。

今回のサミットでは、中学生のときに東日本大震災で被災された方の講演、黒潮町芝地区自主防災組織の方の講話を聞いた後、黒潮町のご協力をいただき、黒潮町内のフィールドワークを実施しました。

町民の方の避難経路や避難場所の確認、津波避難タワーの最上階にある防災倉庫に保管されている物の確認等、講話の内容を振り返る貴重な機会となりました。

「安政津波の碑」の前では、大方高等学校の生徒の皆さんから、この碑に書かれている内容について説明がありました。フィールドワークの参加者は、過去に起こった地震や津波のこと、また、そのときに人々がどのような思いで被災状況の伝承を決意したのかを感じながら、真剣な表情で聴いていました。

感想には、「防災力＝地域力にとっても共感した」「自分たちも自主防災の活動をしたい」「地域作りの大切さが身に染みた」など、高校生が素直に感じたことが記載されており、地域での防災の取組の重要性や今後の防災活動に取り組む意欲の喚起につなげることができました。



講話「自主防災組織の活動について」



津波避難タワーの防災倉庫にて



安政津波の碑の前での解説



Topics  
6

## 高校生による自転車ヘルメット着用の啓発活動が広がっています！

高知県高校生自転車着用推進シンポジウム（主催 須崎総合高等学校）において、参加した高校生から「校外での啓発活動を大人と合同でやってみたい」という意見があったことを受け、県内各地で広報活動が実施されました。その活動の様相を紹介します。

参加した高校生は、自ら自転車ヘルメットを被り、チラシ等を配布しながら、自転車で下校する中高生等に対して、ヘルメット着用を呼びかけました。啓発グッズを受け取った高校生は、啓発を呼びかける同じ高校生の話に、真剣に耳を傾けていました。

活動を終えた高校生は、「自転車を運転している人は、多くがヘルメットを被っていなかったので、ヘルメット着用を心がけることが必要だと感じた」「今回の啓発を通じて、改めてヘルメットの大切さが分かった。ヘルメット購入の助成制度もあるので、学校でも着用啓発を行っていきたい」と振り返っていました。今回の啓発活動で、ヘルメットを被る人が増えていくことを期待しています。



詳しくは学校安全対策課ホームページをご覧ください。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>

問い合わせ 学校安全対策課 学校安全担当  
 TEL : 088-821-4533

Topics  
7

## こどものための本選びに困っていませんか？

オーテピア高知図書館2階こどもコーナーにある「児童図書選定支援コーナー」では、学校や図書館の本選びのお手伝いをしています。過去1年間に出版されたほぼすべての児童書（乳幼児～小学生対象）が閲覧できます。教員、学校図書館支援員、公共図書館職員など、高知県内でこどもと読書に関わる活動をされている方が利用できます。

- ・学級文庫の本を新しく買いたいが、カタログを見るだけじゃイマイチ分からない。
- ・授業で〇〇というテーマを扱うが、最近はどういった本が出ているんだろう。新刊を見比べたい。

そんなお悩みを、児童図書選定支援コーナーが解決します！

コーナーの近くには司書が常駐していますので、本選びの相談もできます。ぜひ、ご活用ください。

メール・FAX・電話で  
事前申込みができます。

児童図書選定支援コーナーは、オーテピア高知図書館2階こどもカウンターの奥（書庫内）にあります。ご利用の際は、こどもカウンターの司書にお声がけください（事前申込み優先）。

※こどもカウンターの開設時間は、9時～17時です。

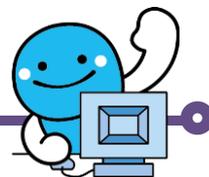
同時に5人まで  
利用できます。

コーナー内には、過去1年間に出版された児童書が、出版年月ごとに並んでいます。コーナー内の本は、自由に手に取って読むことができます。

※本の情報（タイトル、著者等）が書かれたレシートをお渡しすることもできます。このレシートを書店で提示すると、スムーズに本が注文できます。詳しくは司書にお尋ねください。

詳しくは、オーテピア高知図書館こどもコーナー「大人の方へ」のページをご覧ください。  
<https://otopia.kochi.jp/library/kids-toadults.html>

問い合わせ オーテピア高知図書館  
 TEL : 088-823-4946（代表）



オーテピア高知図書館では、新聞記事を検索・閲覧することができます。  
授業づくりや調べ学習などに、ぜひお役立てください。

■ 利用方法

- 「日本経済新聞」「読売新聞」「朝日新聞」「毎日新聞」  
2F②調べもの案内デスク又は3F⑤ビジネス支援デスクで  
申込み（1回の利用は60分まで）
- 「高知新聞」  
3F⑥高知資料デスクで申込み（1回の利用は120分まで）

※利用には図書館の共通利用カードが必要です。共通利用カードは、運転免許証など住所を確認できるものを持参いただければ、すぐに作成できます。



■ 紙面の印刷（有料）

印刷はセルフで、料金は白黒1枚10円、カラー1枚30円です。

【収録紙面（抜粋）】

- 高知新聞 直近11日以前のものが収録。高知新聞社が作成した記事の見出し（昭和20年8月15日～）や本文（平成9年～）でも検索できます。（明治から戦前に県内で発行されていた高知新聞や土陽新聞なども収録されていますが、戦災等により欠けているものも多数あります。）
- 日本経済新聞 昭和56年10月～の本紙本文、昭和57年11月～の地方経済面などが収録
- 読売新聞 昭和61年～の本紙本文（それ以前のは日付で紙面閲覧可）、平成11年10月～の高知版（昭和28年9月20日～は日付で紙面検索）などが収録
- 朝日新聞 昭和60年～の本紙本文（それ以前のは日付で紙面閲覧可）、平成9年1月～の高知版（昭和2年1月～は日付で紙面検索）などが収録
- 毎日新聞 昭和62年1月～の東京本社本文（それ以前のは日付で紙面閲覧可）、平成11年1月～の高知地方版などが収録

※ 留意事項

データをUSBメモリ等に複製することや、画面をカメラで撮影することはできません。



詳しくは、オーテピア高知図書館オンラインデータベースのページをご覧ください。  
<https://otepia.kochi.jp/library/holding05.html>



オーテピア高知図書館  
TEL: 088-823-4946（代表）

お知らせ

■ 教職員の働き方改革に関する取組の好事例の募集について

県教育委員会では働き方改革に関する県及び市町村の取組や学校での取組の好事例を収集し、2ヶ月に1度、教職員の働き方改革通信として発信しています。

学校で行っている働き方改革に関する取組の好事例等の情報がありましたら、教職員・福利課まで情報提供をお願いします。

- 教職員の働き方改革通信掲載 URL :  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310601/2022052600296.html>
- 教職員の働き方改革好事例収集フォーム  
URL : <https://forms.gle/my3ifBfmtr9BHkK8> QRコード：
- 連絡先：教職員・福利課 働き方改革推進担当  
TEL:088-821-4901 E-Mail:310601@ken.pref.kochi.lg.jp



<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL: 088-821-4731 FAX: 088-821-4558 E-mail: 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト: <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

高知県は持続可能な開発目標（SDGs）に向けて取り組んでいます。